

高砂青松

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan

Rotary Club



慈愛の種を播きましょう
SOW THE SEEDS OF LOVE

2002～2003年度国際ロータリーのテーマ



例会記録 (2002. 9. 18 (水)) 通算1180回

ソング 「奉仕の理想」

本日のゲスト 安 淑 憲 様

来訪ロータリ	樽 井 満 之 様 (明石R.C.)	蔭 山 正 則 様 (明石南R.C.)
アン報告(廣瀬)	生 瀬 清 志 様 (明石南R.C.)	八 若 功 様 (姫路東R.C.)
	室 田 隆 重 様 (姫路中央R.C.)	吉 川 勝 之 様 (加古川R.C.)
	桂 田 重 信 様 (高砂R.C.)	砂 川 次 善 様 (高砂R.C.)
	庄 司 治 様 (高砂R.C.)	西 川 敏 彦 様 (高砂R.C.)
	坂 牛 八 州 様 (高砂R.C.)	清 水 昭 様 (高砂R.C.)
	濱 尾 繁 様 (高砂R.C.)	喜 始 すみ子 様 (高砂R.C.)
	中 野 哲 郎 様 (高砂R.C.)	橘 綦 様 (高砂R.C.)
	萬 山 忠 彦 様 (高砂R.C.)	伊 地 知 正 治 様 (高砂R.C.)
	永 野 力 様 (高砂R.C.)	

プログラム予定

9月18日(水)	9月20日(金)	10月2日(水)	10月9日(水)
卓 話 米山奨学生 米山奨学委員会担当	高砂R.C.との 合同例会 高砂神社会館	【職業奉仕委員会担当】	休 会

会長 柿 木 國 夫 幹事 庄 司 武 クラブ会報委員長 佐 野 栄 作

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室 (2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (0794) 43-0500(代)

出席報告 (大橋) 9月4日 会員数52名 欠席者 6名 出席率 92.31% <修正による>
9月18日 会員数52名 欠席者 19名 出席率 63.46%

ニコニコ報告 柿木 國夫 ……今日は米山奨学生の安さんの卓話です。最後になります。よろしく。
三宅 礼三 ……少々速いですが米山月間にちなんで安さんに卓話をお願いしています。よろしく。
内海 薫 ……安さん、お元気でご活躍下さい。
都倉 達殊 ……安さん、時々高砂青松R.C.を思い出して下さい。
吉田 一富 ……早退します。
岡本 崇司 ……早退します。

幹事報告 第11回 通算1121回

1. ロータリー米山記念奨学会より
米山月間資料が届いています。会員ならびに関係役員に配布しています。
2. R.I.より
THE ROTARIAN英語版が届いています。回覧します。
3. 明石南R.C.より
二十年のあゆみが届いています。回覧します。
4. 相生ロータリークラブ週報が届いています。回覧します。
5. 例会変更
明石南R.C.
10/18 (金) → 県立水産技術センターに職場例会
明石西R.C.
10/10 (木) → 休会
10/17 (木) → 10/19 (土) 淡路ウェスティンホテル
加古川R.C.
10/8 (火) → 午前7時より鶴林寺
10/22 (火) → 港湾労働者福祉センター並びに公共埠頭
10/29 (火) → 会員一泊旅行のため
10/26 (土) ~ 10/27 (日) 裏磐梯方面

加古川中央R.C.
9/26 (木) → 夜の例会のため午後6時~「田村」
10/10 (木) → 10/8 (火) 午前7時より「鶴林寺」
10/24 (木) → 10/26 (土) ~ 27 (日)
「玉造温泉」会員一泊旅行

6. 地区大会について

2002年11月22日 (金) ・ 23日 (土) 神戸ポートピアホテルにて開催
出欠を事務局まで 多数の参加をお願いします。

会長の時間

昨日の日朝首脳会談で、拉致事件に関し痛ましい結末が明らかにされました。神戸の有本さんもイギリスで拉致され、すでに帰らぬ人だという。長年待ち続けた家族の落胆は察して余ります。

個々の被害者はいつ、いかなる手段で拉致されたのか、北朝鮮に連れてこられた後の生活はどうだったのか、なぜ死亡したのか等は明らかにされていません。生存確認の方には早急に家族との面会が出来る様、又死亡の方には納得のいく説明と補償問題。課題は山積されていますが、出来るだけ、被害者家族に良い方向に進展する様望まずにはられません。

米山奨学生の安さんが9月をもって大学院を卒業され、帰国されます。当クラブに昨年の6月21日創立記念例会に出席されてから、毎月1回例会日出席いただいております。早いもので1年4ヶ月になります。その間西中亮二会員にはカウンセラーとして御苦勞戴きありがとうございました。本日は安さんの最後の卓話でございます。よろしくお願い致します。

ロータリーの友9月号の30頁に「ポリオ撲滅へのカウントダウン」と題して詳しく掲載されています。ご一読下さい。

本日のプログラム

卓話 「日本生活の思い出」 米山奨学生 安 淑 憲 様

平成11年10月に入学し、3年間在学して来た神戸商船大学の博士課程を今月20日に修了します。その前の平成9年、最初に特別聴講生として来日する時のことは一生忘れられません。釜山の金海空港を出発してから関西空港に着くまでは不安で一杯でした。だれもしらず、言葉も通じない外国でどのようにすれば留学生活がうまくできるのだろうかと思いながら、単に自分自身が信じている神様にお祈りするしかなかったのです。しかしながら、関西空港に着いて飛行機から降りた瞬間、現代的な空港の施設と親切なサービスに驚いて機内で抱

いていた不安はすっかり消えてしまいました。日本人にこのような親切心とサービス精神があるのなら、日本での生活はうまく出来るだろうと思いました。次の日から日本の生活に飛び込んで様々な人と出会い、自分自身も間違いをしながら新しい文化に慣れてきてだんだん心も落ち着きました。しかしながら、文化と言葉の差は思ったとおり、直ぐにはなくなりませんでした。

日本人の親切さは関西空港で初めて体験したこと以外にも数多くありましたが、1つ挙げるとあるおばあさんの行動です。それは頭の中に一番印象に残っており、私が博士号を取るための日本への留学を決心したきっかけになったかも知れません。ある雨の日、学校の授業が終わって家に帰る途中、子供の帽子が道に落ちていました。それを見て、幼稚園に通っている子供を誰かが迎えに来て、自転車の後ろに子供を乗せて帰る時、子供の帽子が風で飛んで落ちてしまったのだろーうと思いました。そして子供の帽子がなくなった事に気が付いて探しているお母さんの姿を想像しながらそのまま帰りました。その時反対側から私の方へ向かってくるおばあさんがいました。おばあさんは雨にぬれている帽子を見て、自分が持っている袋を取り出し帽子をいれて誰でもすぐに気がつくところに掛けました。それから再び歩きはじめました。それを見た瞬間、いろいろなことが頭をかすめていきました。

私は帽子を落として探しているお母さんを心配しただけでしたが、おばあさんは私と違いました。そのおばあさんは自分自身のこともあったらうし、もしかすると電車にも乗りおくれる可能性もあったかもしれないのに、自分のことよりもまず帽子を落としたお母さんのことを考えたのです。まるで自分の孫の帽子を探しているかのようでした。この時のおばあさんの行動は当たり前のように思えるかもしれませんが、私はとても感動しました。もしかしたら、おばあさんも若い時にまったく同じことで助けてもらったことがあるので、ただ自分がしてもらったことを他人にただけだとしても、私にはおばあさんが素晴らしく見え、日本の社会がもっと暖かく感じて来ました。自分の立場もそうですが相手の立場もよく考えて行動する国民性が現在の日本を作り上げた大きな要因であると思われまます。

最後に、私は息子、娘及び妻の4人家族と共に来日し、多くの人々に大変お世話になり、周りの皆さんが暖かく見守ってくれました。特に、日本生活の一日一日が私自身とともに子供の将来のために大きな勉強になりました。日本政府を始め、文部科学省、神戸市および大学にいつも感謝の気持ちでいっぱいあります。特に、高砂青松ロータリー・クラブには奨学金やカウンセラーのこ

とで大変お世話になっておりまして、将来の恩返しのご心配になるほどであります。卒業して国へ帰ったら周りの人々に伝え、将来、私も社会奉仕にお役に立ちたいと思います。長い間、日本の皆さん、そしてロータリークラブの皆さんありがとうございました。

